

From the

# World Conference



## ESOC 2018

2018年5月16~18日 スウェーデン・ヨーテボリ

井上 学 国立循環器病研究センター脳血管内科医長

2018年で4回目となるEuropean Stroke Organisation Conference(ESOC)は、スウェーデンのヨーテボリで5月16~18日の3日間にわたり開催された(写真1)。まだ4回目ではあるが年々参加者は増加しており、80カ国から1,800題以上の演題登録があった。最終的な参加者数は4,500人以上とのことで、名実ともに欧州最大級の脳卒中学会となったといえる。第2回の2016年に fellow of ESO(FESO)になった身としては嬉しい限りである。今回は23演題もの大規模臨床試験の結果が発表され、どの会場も大いに盛り上がった。

ヨーテボリはスウェーデンの港湾都市で、県庁所在地であり人口は約52万人、スウェーデンではストックホルムに次ぎ2番目に大きい都市である。ヨーテボリは“ゴートの都市”を意味するため英文表記は Gothenburgとなるが、日本語読みではイエテボリ、イエテボリ、エテボリなどと表記呼称される。これ

はスウェーデン語で“Göteborg”と表記するためであり、現地では“ゴテンベルグ”といわれると戸惑うことが多々あった。ヨーテボリの町並みは穏やかで、自転車で通勤・通学する人が多く、自転車用道路で綺麗に整列しているのを見かけ、その律儀な国民性を目の当たりにした(写真2)。路面電車も発達していたが、やはり本社の所在地であるボルボの自動車が多くみかけられた。

さて、実際の学会であるが、前述のとおりいくつもの大規模臨床試験の発表があり、毎日目玉があったが、今回はPOINT試験<sup>1)</sup>、WAKE-UP試験<sup>2)</sup>、AURORAコラボレーションを取り上げたい。

POINT試験<sup>1)</sup>は、発症12時間以内のABCD<sup>2</sup>スコア4点以上の一過性脳虚血発作(TIA)またはNIHSS 3点以下の軽症脳梗塞を対象に、アスピリン単剤投与群とクロピドグレル600mgを初日にローディングした後クロピドグレル75mg/日を90日間併用した群を比較する

写真1 ESOC会場



写真2 整列した自転車通勤の風景



SAMPLE